

第10回甲府市中心市街地活性化協議会議事録

- 1.開催日時 平成22年2月9日(火) 午前10時30分～正午
- 2.開催場所 錦通り「ボンマルシェ」
- 3.出席者 17名(本人出席15名、別添名簿参照)
- 4.事務局出席 L L Cまちづくり甲府 リーダー 越石 寛
" 業務担当 望月雅樹

5.議事内容等

開会の後、望月会長より、「前回の当協議会から、まちなかで開催することとし、本日もまちなかのレストランにお集まりいただき開催することとした。現在、甲府の街は、紅梅町の再開発を始め、北口の開発、県の防災新館の建設やこの後話がある市庁舎の建て替えなどで変わろうとしている。何とか、これらのプロジェクトを契機として、中心街の活性化に繋がられるよう当協議会の役割を十分果たしていきたい。なお、本日は、リラックスした雰囲気の中にも真剣な議論をお願いしたい。」旨のあいさつをした。

続いて、望月会長に議長に就任いただき、まず議事1)について、甲府市に説明を求めた。

1) 中心市街地活性化基本計画並びに市庁舎の進捗状況について

まず、甲府市中心市街地振興課 中澤課長より、基本計画の説明があり、57事業が、A～Gの7段階の進捗状況に分けられた資料に基づいて、詳細な説明があった。

また、市庁舎については、宇野副市長より、前回説明があったプロポーザル(案)と基本設計(案)とを比較しながら、「基本設計の大枠」について詳細な説明があった。

議長は、中澤課長及び宇野副市長の説明を受けて、各委員に意見・質問を求めたところ、次のとおり意見・質問が出され、宇野副市長等から回答があった。

(基本計画への意見・質問、回答)

浅川委員：YYプロジェクト事業は、資料によると20年度となっているが、継続されているのか状況を教えてほしい。また、甲府駅南口検討事業の状況と組織、特に自治会関係者の参加がどのようになっているかも併せて伺いたい。

宇野委員：YYプロジェクトについては、22年度まで継続して行われると聞いている。また、甲府駅南口検討事業については、まちづくり研究会が立ち上がっており、甲府市も会議費やデザイン設計費などを一部補助しており、組織については、(株)ダイタの中込社長が会長を務め、橋地区の自治会関係者も参加していると聞いている。

望月会長：今の甲府駅南口検討事業に関連して、最近甲府駅南口では、タクシー運転手がタバコを吹かしてたむろしている光景が目につき危惧している。改善

策はないものか。

宇野委員：タクシープールがある道路が県の管理下にあることから、県と市で、駅前全体の議論からはじめて、検討していきたい。

長坂委員：こうふ・タウンファンタジー事業は、21年度で終了してしまうのか。

宇野委員：中心商店街のソフト事業については、費用対効果・地元の協力などを踏まえて、見直しを行っており、こうふ・タウンファンタジー事業は、甲府市としては現状22年度予算には盛り込んでいない。

望月会長：事業継続には、地元の協力意識が大切で、それが無い事業は見直さざるをえないと私も考えている。

森澤委員：空き店舗対策事業の中に、新たな街の駅の検討とあるが、現状どのような状況なのか教えて欲しい。

中澤課長：基本計画を検討している時に、朝日町の方で、「銀座街の駅」的な施設を検討したいとの話があり盛り込んだ。現状では、まったく同じではないが朝日町に空き店舗を活用した福祉施設を設け運営している。

長坂委員：岡島百貨店のリボーン計画についての概要と進捗状況と併せてオリオン南部の所有地の状況も教えてほしい。

渡邊氏：店舗の内外装のリニューアルと魅力あるテナントの誘致を柱にすすめており、22年度動き出す予定となっている。特に、甲府の街にない若者をターゲットにした展開を図っていきたい。また、オリオン南部の所有地については、ポケットパークにしていきたいと考えている。

望月会長：共通駐車券事業については、良い事業と考えているので、担当であるまちづくり甲府（事務局）から現在の状況を説明して欲しい。

事務局：現在、大型店、地元駐車場業者、商店街関係者等により検討会議を設けて検討している。先般大型店より自前の駐車場から大手駐車場会社の委託運営に切り替えたことから連携が難しいとの回答をいただいたところだが、歩み寄れる接点を見出しながら、紅梅町再開発ビルのオープンに併せてシステム構築を目指したいと考えている。

高野委員：機械式の駐車場は、アマノというメーカーの機械がほとんどなので、そのシステムに合せることと、100円券ないしは200円券として発行し、事前に大型店や商店街に買っていただくような方式に持っていければ実現できるのではないか。

望月会長：共通駐車券事業については、実現に向けてのスケジュールを明確にして、対応して欲しい。次回また報告をして欲しい。

（市庁舎への意見・質問、回答）

丸茂委員：同じ時期に、県の防災新館の建設が予定あるが、外観のデザインや機能などの連携について話し合いが持たれているのか教えていただきたい。

宇野委員：今話し合いが持たれているのは、1階のスペースについて、お互いに事務スペースにせず、機能が重複しないよう検討している。県の方では、物産を販売するスペースやジュエリーミュージアムなどを設ける方向ですんでいる。一方市の方は、市民活動向けのスペースとして考えている。その他、駐車場や会議室の利用については、連携することで話し合いを持っている。外観については、まだ検討していない。後、高さについては、県の

方ではヘリポートを作るので少し高くなる予定である。

望月会長：全く同じということではなく、外観の雰囲気については、デザインの統一を図って欲しい。

森澤委員：1階の駐車場については、土日イベント広場的な利用も考えていると説明があったが、イベントがない時はどのような利用を考えているのか、また駐車料金についてはどのように考えているのか教えて欲しい。

宇野委員：駐車場であったり、イベント広場であったり自由に運用できるようなシステムを考えている。また、いくらかの料金設定はしなければならないと考えている。

望月会長：駐車場については、一番の問題と考えている。先程の説明では、地下の駐車場はつくらないということであるが、1階の147台ということで賄えるのか疑問である。

宇野委員：147台という台数は、交通量調査を行い、算定した数字で、少なくとも市役所来られるお客様は賄えると考えている。

高野委員：現在、岡島百貨店が一部機械の老朽化で96台分の駐車場を閉めているが、201台ある私共のかわせみ駐車場がいっぱいになることはないのが現状である。また、中心街は空き地がほとんど駐車場になっており、飽和状態になっているのも事実である。街の中を歩いてもらうこと考える観点からも、既存の街なか駐車場を活用いただくことも考えていただければと考える。

丸茂委員：私共もペルメ桜町で駐車場を運営しているが、会議所がセミナーなどで満車などの時は、ご利用いただくような連携もしていただいていることを考えると足りるのかなとも感じている。

望月会長：前回のプロポーザル案では、確か「ぶどう」を植えるようなことがあったように記憶しているが、基本設計案ではどうなっているのか。また、議場が、年間数十日しか利用しない議会のために、最上階の一番いい場所にあるのは疑問があると思うが、他都市の状況はどのようになっているのか。

宇野委員：まず、ぶどうについては植えるのではなく、ぶどう棚をモチーフにして、太陽光パネルを設置しようと考えている。また、議場については、他都市でも構造上の事を踏まえて、別棟が最上階に位置している。なお、利用日数ことは、運用面で利用率を上げることを検討していきたい。

長坂委員：中央商店街地区の防災時の避難場所として、現在中央公園が指定されているが、新市庁舎が完成した際は、市庁舎の駐車場を避難場所として頂き、中央公園を活用できるようなことを検討して欲しい。

宇野委員：中央公園は、県有地ということもあり、具体的な活用策を出していただいた上でないと検討するとは出来ないと考えている。

議長は、以上各委員から出された意見を課題として捉え、今後の基本計画の実施、市庁舎建設に反映していただくよう甲府市に要望し、議事1)を終了した。

続いて、議長は、議事2)について甲府市並びに事務局に説明を求めた。

2) 甲府銀座ビルについて

まず、甲府市中澤課長より、甲府銀座ビルの経緯を踏まえ、新しいオーナーの現状説明があり、事務局（越石）より、オーナーが委託したコンサルタント会社(株)ジュナイスから説明があったビルの活用構想についての補足説明を行った。

議長は、甲府市並びに事務局からの説明の後、各委員に意見・質問を求めたところ、長坂委員より次のとおり補足説明があった。

長坂委員：オーナーが委託したコンサルタント会社(株)ジュナイスとは、商店街の代表という立場で、何度か面談しており、昨日も連絡を取ったところである。特に、詳しい設計・資金計画を作ってみせてほしいと要望したところ、建物高さについて、9階建にするか、10階建にするか検討中なので、もう暫くまってほしいとの回答を得ている。また、建物の解体も今春には行いたいとの情報も得ている。

議長は、長坂委員に対して甲府銀座ビルの情報については、随時報告して欲しい旨お願いして、特に質問等がないことから議事2)を終了した。

続いて、議長は、議事3)について甲府市に説明を求めた。

3) 甲府紅梅地区再開発事業の進捗状況について

甲府市中澤課長より、今年の10月オープンまでのスケジュール、ビルのネーミングの募集、マンション販売開始などの状況等について詳細な説明があった。

議長は、甲府市からの説明の後、当ビルに宝石学校が入り若者が集まるので、特に商店街関係者には、若者を取り込むような街づくりを進めるようお願いした。

その後、各委員に意見・質問を求めたところ特になく、議事3)を終了した。

続いて、議長は、議事4)について事務局に説明を求めた。

4) 甲府中心商店街歩行量調査について

事務局（越石）より、平成21年度の歩行量が前年と比較し7%減少したこと、またその原因が、甲府銀座ビルのオギノかすがも～る店の閉店や県民情報プラザの閉鎖などの影響を受けたことなどについて、資料に基づいて説明した。また、歩行量調査は、来年度から甲府商工会議所から甲府市に移ることも補足した。

議長は、事務局からの説明の後、資料に触れ、数字の羅列ではなくグラフなどを活用して分かりやすいものにするように事務局に対して指示を行った。

その後、各委員に意見・質問を求めたところ特になく、議事4)を終了した。

議長は、最後に各委員並びに事務局に対して、議事5)その他の案件について、意見等を求めたところ、特になく議事を終了した。

第10回甲府市中心市街地活性化協議会 出席状況

役職名	委員名	所属団体・役職名	2/9
会長	望月政男	甲府商工会議所 副会頭	
副会長	長坂善雄	甲府商店街連盟 会長	
〃	大村俊介	甲府市大型店協議会 会長	代
〃	有井昇	(株)山梨中央銀行 取締役 営業統括部長	代
委員	宇野善昌	甲府市 副市長	
〃	丸茂紀彦	甲府商工会議所 常議員	
〃	渡辺恭史	合同会社 まちづくり甲府 専務	
〃	高野洋志雄	甲府中央まちづくり(株) 専務取締役	
〃	木造雅隆	甲府中央商店街新生協議会 会長	
〃	樋口幹男	朝日通り商店街(協) 副理事長	
〃	宇佐美太郎	紅梅地区再開発組合 理事長	×
〃	浅川健一	春日地区自治会連合会 会長	
〃	清水明	〃 副会長	
〃	雨宮正英	山梨交通(株) 常務取締役	
〃	牛奥久代	甲府市女性団体連絡協議会 会長	
〃	森澤昌子	子育て支援団体「ハッピーキッズ」代表	
〃	市原実	山梨県立大学 国際政策学部 総合政策学科 教授	×
〃	丹沢良治	NPO法人 街づくり文化フォーラム 理事長	×
オブザーバー	岩波輝明	山梨県 商業振興金融課 課長	代
〃	遠藤弘	甲府警察署 交通課 課長	

= 出席、× 欠席、代 = 代理出席